

イノベーション・マネジメント

創業以来、NECは「ベタープロダクト・ベターサービス」をモットーに、技術力を培ってきました。社会は常に変化しており、求められる技術も変容しますが、時代の変化を適切に捉えたイノベーション・マネジメントを実行することで、社会が求める技術を製品・サービスとして提供し、社会価値創造に貢献しています。

NECは、継続的に売上収益の4%程度を研究開発費にあて、社会価値創造に必要なNo.1 / Only 1のコア技術へ集中投資しています。また、グローバルなオープンイノベーションにも積極的に取り組み、競争力のある技術のマネタイズを加速します。

研究開発戦略

NECでは、CTO（チーフテクノロジーオフィサー）が技術開発全体に責任を持ち、開発投資の全社最適化と、オープンイノベーション戦略の立案を進めています。

技術開発の源泉となる研究開発は、SDGsなどで示されている社会課題に対してNECが取り組むべきソリューションを絞り込み、その実現に必要な技術アセットを効率的かつ早期にそ

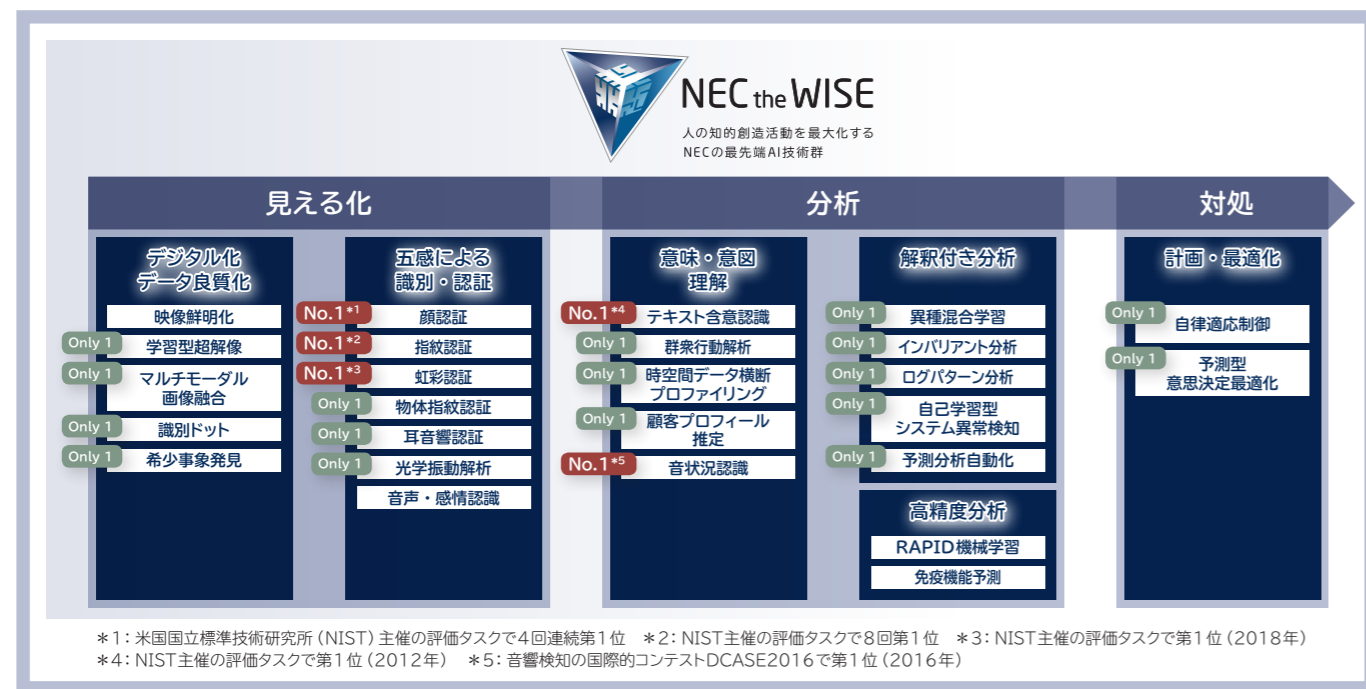
ろえ、いち早く社会に価値を届けることを基本方針として取り組んでいます。この技術アセットは、技術トレンドもふまえながら徹底的に磨きあげたNECのNo.1 / Only 1のコア技術だけでなく、オープンイノベーションの活用により創出した技術も含まれています。

2020中期経営計画の成長領域を支える「Bio-IDiom」と「NEC the WISE」

2018年4月に新しく立ち上げた生体認証製品の統一ブランド「Bio-IDiom」は、顔、虹彩、指紋・掌紋、指静脈、声および耳音響の6つの生体認証技術を活用しています。複数の生体認証技術を組み合わせることで、個人認証のさらなる高精度化を実現するマルチモーダル認証は、NECの強みのひと

つとなっています。また、AI技術群「NEC the WISE」の「群衆行動解析」やその他の技術などと組み合わせることで、全く新しい価値を提供できると考えています。

世界トップクラスの生体認証技術とAI技術に、今後も集中的に投資していきます。



主な研究成果

コア技術	成果	展開先
インバリエント分析	インバリエント分析技術を衛星・宇宙航空分野での活用に向け提供	ロッキード・マーティン社
自己学習型システム異常検知	未知のサイバー攻撃に対応可能なセキュリティ異常検知サービスを発売	システム運用業務など
顔認証	VIP顧客へのサービス向上向けに顔認証システムを提供	シンガポールOCBC銀行
顔認証	ウォークスルー顔認証を活用した入退管理ソリューションを発売	商業施設運営、イベント運営など
異種混合学習	日本気象協会とバリューチェーン全体で需給を最適化するビジネスで協業	食品製造、食品卸、物流、小売など
予測分析自動化	データ分析プロセスを自動化する新会社dotData社を米国に設立	データ分析業務など
ログパターン分析	多様なログを分析し、異常検知や原因分析を実現する製品を事業化	システム運用業務など
ベクトル計算機向け機械学習データ処理	ベクトル計算機向けのデータ処理により統計数理AIの学習処理を既存技術に比べて50倍高速化	データ分析業務
高速ブロックチェーン	世界最速 毎秒10万件超の取引を可能にするブロックチェーン技術を確立	金融などのさまざまな取引や情報共有

知的財産戦略

NECは、知的財産をNECグループの事業競争力や事業安定性、さらにはお客さまとの共創に資する重要な経営資源と位置づけ、特許権やノウハウはもとより、グローバルブランドを支える意匠権や商標権の強化と保護を推進しています。

社会価値を創造し発展させていくために、知的財産権によ

る参入障壁の構築や競争優位性の担保だけでなく、お客さまやパートナーとの連携を強化・保護するための知的財産網の構築や活用も進めています。

なお、2018年3月現在、NECは、国内外合わせて約5万1千件（うち、国内約2万2千件）の特許を保有しています。

詳しくはサステナビリティレポート2018「イノベーション・マネジメント」をご覧ください。